

【取組内容③】デジタル連絡帳～1人1台端末の家庭への持ち帰りを活用～

【実践の目的】

児童が毎日写していた連絡帳をgoogleクラスルームで作成・確認させることで、児童が連絡帳を写す時間や教師が確認をする時間を、補助学習や個別の支援の時間に充てる。

【使用したアプリ】

Googleクラスルーム

【実践内容】

- ・Googleクラスルームに連絡帳の内容を入力する。
- ・児童は学校で記載内容を確認する。
- ・1人1台端末を家庭へ持ち帰った際、保護者に内容を確認してもらう。
- ・児童の下校後、追加の連絡や変更等があった際には、編集をしたりコメント機能を活用したりする。
- ・個別への連絡は、個別宛の投稿をする。

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・児童が連絡帳を書く時間や、教師がチェックする時間を大幅に短縮することができた。
- ・連絡帳の写し間違いを防ぐことができた。

★ICT活用の仕方工夫が必要であった点

- ・家庭へのお手紙等、内容によっては連絡帳も併用する必要がある。
- ・児童の発達段階等（低学年や支援学級等）によっては、視写の練習も必要である。



10月24日 連絡帳

宿

音 自 (2ページ)

持

ソーラン節はっぴ はちまき (まだの人)

※先生今日一日いませんで、今日の予定です

1 理科 鈴木Tと続き

2 国語 教科書p42漢字の広場をノートにやる

3 体育 体育の助高跳び、その他の種目を見る

4 社会 前回決めた伝統について調べる

→ノートにまとめる

5 算数 たしかめよう

6 クラブ

ソーラン節のはっぴやはちまきを持ってきた人は明日確認するので、ロッカーに入れておいてください。

仲良く過ごしましょう！😊

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立片岡小学校

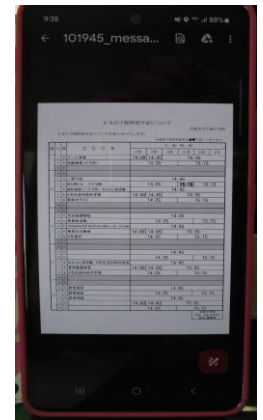
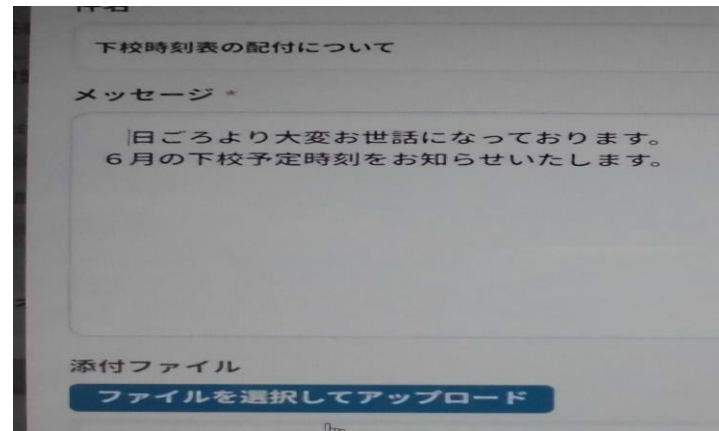
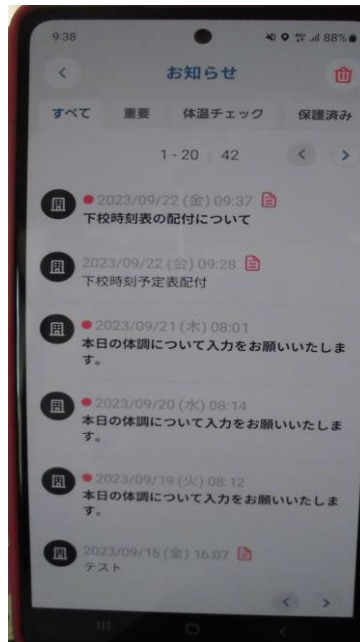
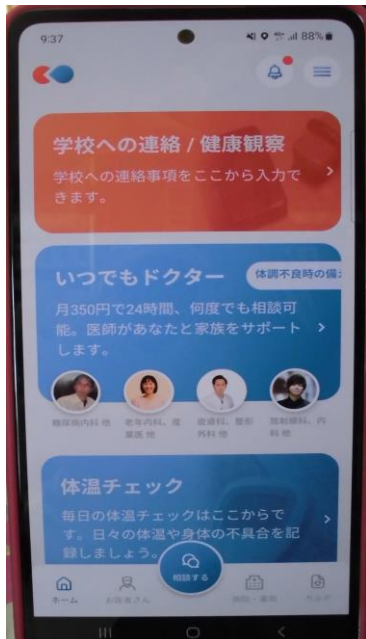
【取組内容④】お便りのペーパーレス化

【実践の目的】

学年便りや保健便りなど、保護者に配付するお便りをメールに添付してデータのまま配付することにより、印刷配付の手間を省くと共に既読の確認を行う。

【実践内容】

- 学年便りをメールでデータを添付して配付する。
- 既読確認機能でお便りを保護者が確認したかどうかをチェックする。

【使用したアプリ】
健康観察アプリ

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- 印刷や配付にかかる時間や印刷する用紙を削減できた。
- 保護者に連絡が届いているかどうかを確認できた。

★ICT活用の仕方で工夫が必要であった点

- 健康観察アプリに登録を希望しない保護者には個別に配付する必要がある。